

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス グランデール		公表日		2025年 1月 8日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	1	1日5名定員の為十分なスペースと考える。	物品の整理などを行い、今後もスペースの確保を継続していく。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	10		マンツーマン支援体制をとれている。	重心型ということもあり、指定基準以上の手厚い配置となっているので今後もできる限り継続していきたい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1	トイレ等バリアフリー化は出来ている。また、空調を入れるなど対応。	継続していきたい	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		医療児ケア児対応の為ベッドなど確保している。	継続していきたい	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1	子供達が個別対応を取れるスペースがある。	職員にも周知し、よりよくスペースが使えるようにしていく。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	6	月に1度会議を行っているが、業務改善の事について話し合いが足りないところもある。	チーム会議などを定期的に行い、PDCAサイクルが回るようにしていきたい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1	開所1年目の為、今回より実施。	今回実施した内容をもとに改善していきたい	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		担当職員による会議で情報の交換と共有を行っている。	継続していきたい	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	6	第3社による評価は行っていない	開所1年目の為今後の課題と考える。必要であれば検討する。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	10		法人内での全体研修やイーラーニングの導入により学びの機会をもっている。	継続していきたい	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10		法人ウェブサイトにて公表している。	継続していきたい	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成しているか。	9	1	月に1度ケース検討会議を実施。	継続していきたい	
	13	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		職員間での情報共有を密に行い、共通理解を図っている。	継続していきたい	
	14	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10		担当職員間による会議などで周知を行っている。	継続していきたい	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10		行動観察をアセスメントにつなげている。	標準化されたツールの使用は今後検討。	
	16	児童発達支援計画(放課後等デイサービス計画)には、児童発達支援(放課後等デイサービス)ガイドラインの「児童発達支援(放課後等デイサービス)の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10		5領域との関連も踏まえて具体的な支援内容を定めている。	継続していきたい	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		担当職員による会議で立案・実施している。	継続していきたい	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		開所1年目ではあるが、プログラムが固定化されないよう、企画を立案・実施している。	継続していきたい	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	10		音楽療法のような集団活動、PT等の個別活動を組み合わせたプログラムを実施。	継続していきたい
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10		事業所内の掲示板やスマホアプリでの情報共有、確認をしている。	継続していきたい
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	8	時間などの事情により、適時で必ずという頻度で行えていない。	可能であれば平日や翌日など振り返りなど行うようにしていく。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		複写式ノートを活用して記録している。	継続していきたい
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	1	10月よりアンケートを実施し、11月からのモニタリングにつなげていく。	継続していきたい
	24	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	10		チーム会議で周知しながら支援をおこない、障害特性に配慮しながら複数の基本活動を提供している。	継続していきたい
	25	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		言語でのコミュニケーションが困難な場合でも自己決定を促せるよう関わっている。	継続していきたい
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10		担当職員が参画できるようにしている。	継続していきたい
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		法人内の医療職と連携している。	今後教育機関等との連携も検討していく。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	9	1	相談員も参加したチーム会議を行っている。スーパーバイズ等を受ける機会はまだ設けられていない。	地域の事業所などと連携していきたい
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	9	実施できていない。	開所1年目という事もあり、まだ実現できていない。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		送迎時等に活動時の様子を伝えたり、気付いた事などの情報を共有している。	継続していきたい
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	9	まだ実施できていない。	ペアレントとトレーニング等の情報発信を検討課題として取り組みたい。
	32	【児発事業所・児発センターのみ】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	33	【児発事業所・児発センターのみ】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	34	【児発センターのみ】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	【児発センターのみ】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
36	【児発センターのみ】(自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	37	【放デイのみ】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10		相談員から就学前の情報を得て共有している。	継続していきたい
	38	【放デイのみ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	2	相談員から就学前の情報を得て共有している。	保育所や児童発達の事業所との連携がまだ十分でないところもあるため連携していきたい
	39	【放デイのみ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	2	サービス担当者会議や学校での進路会議への参加など。	今年度から事業開始のため、卒業時には情報共有するなどしていきたい。

	40	<u>【放デイのみ】</u> (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	3	7	特に案内を頂けていない。	案内などが頂けるように行政や相談支援事業所などに働きかけていく。
保 護 者 へ の 説 明 等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		契約時などに説明を行っている。	継続していきたい
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		本人と家族、それぞれの意向を確認し、計画に反映させている。	継続していきたい
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10		本人と家族、それぞれの意向を確認し、計画に反映させている。	継続していきたい
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	1	送迎時の他電話やLINEなどを用い対応している。	継続していきたい
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	2	兄弟で利用している方もおられる。	必要であればイベントの開催など検討していきたい。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		LINEWORKSにて情報共有し、適宜対応している。	継続していきたい
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		毎月1回会報を発行、配布している。HPやSNSにも取り組んでいる。	継続していきたい
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		契約時に個人情報使用の同意を頂いている。	継続していきたい
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		仕事が忙しい保護者ともLINEなどの活用で情報伝達を行っている。	継続していきたい
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	2	地域の方々も鑑賞できる音楽会を開催、社協のアイアイセンターの祭り等に参加。	継続していきたい
	51	<u>【放デイのみ】</u> 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		送迎時の他電話やLINEなどを用い対応している。	継続していきたい
非 常 時 等 の 対 応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	8	防犯マニュアルなど整備、策定が出来ていないものがある。	防犯マニュアルの整備や周知など行っていく
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		法人でBCPを作成している。	継続していきたい
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		アセスメントの際に確認を行っている。	継続していきたい
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	7	医師の指示書までは無いが、アセスメント時に必ず確認するようにしている。	必要であれば医師の指示書なども頂くようにする。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10		避難訓練の実施や赤十字による幼児安全法の受講など。	継続していきたい
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	8	今後一層の周知を行っていく。	今後一層の周知を行っていく。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		会議の際に情報共有と対策の検討を行っている。	継続していきたい
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		虐待防止研修をイーラーニングを活用して実施。	継続していきたい
	60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10		身体拘束廃止委員会にて検討している。	継続していきたい